

平成18年度三番瀬再生事業関連予算について

平成18年3月28日
総合企画部企画調整課

事業名	新規・継続の別	担当課	予算額 (千円)	事業内容
総合企画部				
三番瀬再生会議等開催事業	継続	企画調整課	7,010	三番瀬の再生を円滑・適切に進めるため、県の再生計画等への意見を述べたり、三番瀬の自然環境や再生事業の評価等を行う三番瀬再生会議や評価委員会を開催します。
三番瀬情報発信事業	継続	"	10,921	三番瀬への県民の関心・理解を深めるため、三番瀬サテライトオフィスの設置・運営、三番瀬フェスタの開催、三番瀬ライブカメラの設置・運用等、様々な情報発信を行います。
三番瀬再生実現化検討事業	新規	"	12,000	三番瀬の再生に必要な再生事業を検討し、事業実施上の課題、規模・手法、事業相互間の関係や手順など、実現化のための検討を行います。
環境生活部				
環境学習検討事業	継続	環境政策課	2,532	三番瀬における環境学習・環境教育について地域全体で主体的に進められるよう学識経験者等多様な主体による検討委員会において、事業計画等について検討を行います。
三番瀬自然環境データベース維持事業	継続	"	1,022	三番瀬の再生に当たっては、順応的な管理が必要なことから、自然環境に関するこれまでに実施された調査結果及び今後得られる調査結果の効率的活用を図るため、データの追加入力等データベースの維持を図ります。
三番瀬自然環境合同調査実施事業	継続	"	300	三番瀬の再生に多くの人々が参加し、計画の目的や手法を共有していくため、一般からの参加を募って、三番瀬の自然環境に関する合同調査（底生生物調査）を行います。
行徳湿地再整備事業	継続	自然保護課	36,110	行徳湿地は三番瀬の後背湿地の機能を有する貴重な場所であり、三番瀬とのつながりを強化するため、海水交換、淡水導入促進のための施設整備等調査、湿地環境悪化防止のための維持管理を行うとともに、検討協議会を開催します。

事業名	新規・継続の別	担当課	予算額 (千円)	事業内容
三番瀬 自然環境 調査事業 (三番瀬 底生生物 調査)	継続	自然 保護課	50,000	過去の調査結果と比較することによって、三番瀬の底質及び底生生物の変遷を把握するため、三番瀬海域約100地点で、春、夏、秋、冬の四季に三番瀬の底泥を採取し、その粒度組成等の状況の分析、底生生物の生息状況の調査を行います。
農林水産部				
三番瀬 漁場再生 検討事業	継続	水産課	604	三番瀬をより良い漁場に再生するため、海洋・漁業の専門家と漁業者、地元住民等によって組織する「三番瀬漁場再生検討委員会」において、具体的な事業計画を検討します。
三番瀬 漁場改善 検討事業	新規	〃	7,000	三番瀬の漁場再生に向けて、漁業者から要望がある潮の流れの改善について、現状の漁場環境を整理した「漁場特性マップ」を作成し、その情報を元に必要に応じてシミュレーションを行う等、漁場再生の具体化の検討を行います。
三番瀬 漁場再生 調査事業	継続	漁業 資源課	6,110	三番瀬の漁場再生に向けて、漁業等に支障が生じているアオサの効果的回収、利用・処理方法の具体化、アサリの冬季減耗対策のための波浪減衰手法の検討、アマモ場の魚類の産卵場や幼稚仔保育場としての効果の評価、アマモ種子確保のための試験等に取り組みます。
生産管理 対策事業	新規	〃	3,750	三番瀬ではアサリ資源の変動が大きく、長期的には減少傾向が続いていることから、三番瀬に発生するアサリ稚貝を傷めずに効率よく採取し、生息適地へ移植するための稚貝採取機の試作・開発に取り組む県漁連に対し助成を行います。
県土整備部				
市川市 塩浜護岸 改修事業	継続	河川 計画課 河川 環境課	203,500	老朽化が著しく危険な状態となっている市川市塩浜地区護岸の改修は緊急の課題となっていることから、「市川海岸塩浜地区護岸検討委員会」の検討結果を踏まえ、塩浜2丁目の東側100mにつき順応的な管理による護岸改修を行います。
合 計			340,859	